

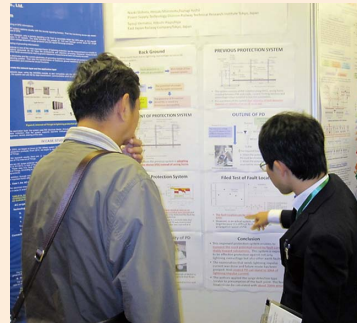
国際会議から

第32回雷防護国際会議

本会議は、雷から人体や機器を防護する方法や、雷の科学的調査の促進を目的として、1951年以来ほぼ隔年に開催されています。

会議では41のセッションが開かれ、近年導入が急激に進んでいる再生可能エネルギー設備の雷防護、ロケットによる誘雷、雷サージ防護デバイス、雷観測システムを用いた統計、落雷位置標定システム(LLS)、避雷針や接地の設計解析など世界各国から415件の発表がありました。

日本からは鉄道事業者の他に、電力事業者、大学、雷防護関係メーカーなどから、30余名が参加しました。鉄道総研からは、信号機器の雷害対策に関する研究と、直流き電区間における雷害対策に関する研究の2件を発表しました。



発表風景

柴田直樹
電力技術研究部
き電研究室
研究員



発表会場風景

正式名称：The 32st International Conference on Lightning Protection
 開催国：中華人民共和国(上海)
 期間：2014/09/12-17
 主催：Tsinghua University, Shanghai jiao Tong University
 協賛：IEEE, CIGRE, National Natural Science Foundation of China
 開催頻度：隔年1回
 次回開催予定：2016年9月 エストリル(ポルトガル共和国)
 ホームページURL：<http://www.iclp2014.net/www/index.php>